

4 衛 生 費

132,328,536 円

衛 生 費

○ 衛 生 費

1 3 2, 3 2 8, 5 3 6 円

1. 保健衛生

(1) 定期接種の部

区 分		対象人員	実施人員	実施率(%)	備 考	
種 痘	第 1 期	1,000	647	65	乳幼児	
	第 2 期	700	489	70	小学校入学児	
	第 3 期	552	491	89	6年卒業生	
	計	2,252	1,627	72		
ジフテリア 百日咳 (破傷風)	第 一 期	第1回	1,000	793	79	乳幼児
		第2回	793	707	89	1回済んだ者 乳幼児
		第3回	707	588	83	2回 " "
		計	2,500	2,088	84	
	第 2 期	900	474	53	3回完了後 18ヶ月過ぎた子供	
小 計		3,400	2,562	75		
ジフテリア	第 3 期	700	454	65	小学校入学児	
	第 4 期	552	457	83	6年卒業生	
	小 計	1,252	911	73		
ポリオ 生ワク投与	第 1 回	1,000	804	80	乳幼児	
	第 2 回	900	636	71	1回終了後6ヶ月の者	
	小 計	1,900	1,440	76		
合 計		8,804	6,540	74		

(2) 任意接種の部

区分	対象区分	対象者数	実 施 人 員			
			実施率(%)	第1回	第2回	計
日 本 脳 炎	6月～1才未満	500	86	430	346	776
	一般幼児	3,000	60	1,789	186	1,975
	保育園児	500	56	278	0	278
	幼稚園児	1,000	44	438	0	438
	小学校4年生	575	91	526	0	526
	中学校2年生	448	96	432	0	432
	計	6,023	65	3,893	532	4,425
イン フル エン ザ	一般幼児		-	136	0	136
	小学生1,2,3,4,5,6	3,400	68	2,304	831	3,135
	中学生1, 2, 3	1,370	36	492	437	929
	計	9,270	-	2,932	1,268	4,200
合 計		15,293	-	6,825	1,800	8,625

注 10月14日各種予防接種の拒否を受け、インフルエンザ接種は予定の半分も出来なかった。

(3) 防 疫 伝染病発生状況

◎ 月別報告

病 名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
赤 痢								1					1
疑以赤痢		1			1	1				1			4
しよ紅熱	3	5	1	2				1	1	3	1		17
計	3	6	1	2	1	1	0	2	1	4	1	0	22

予防 患者発生 ———— 隔離 ———— 患家及汚染物件消毒
 (学校、幼、保育園などを含む)

◎ 接客業者に対する検便は(防)指定地区により保健所が実施した。

(4) 結核予防

ア 検診状況

区 分	対象者	X光線 撮 影	接 種		X線 %	要注者
			ツベルクリン	B C G		
乳 幼 児	2,000	0	1,361	369	0	2
一 般	5,000	1,040	0	0	21	8
小 学 校	3,442	3,181	3,277	250	92	3
中 学 校	1,368	1,347	804	18	98	1
計	11,810	5,568	5,442	637	47	14

イ 患者登録数

区 分	感 染 性			非 感 染 性			肺 外 結 核			不 明	計
	入 院	在 宅	そ の 他	入 院	在 宅	そ の 他	入 院	在 宅	そ の 他		
登 録 数	12	6	0	11	103	0	0	6	0	5	143

(5) 母子衛生

ア 出生数(月別)

地 区	$\frac{45}{4}$	5	6	7	8	9	10	11	12	$\frac{46}{1}$	2	3	計
福 生	51	49	38	50	46	41	35	34	49	50	36	44	523
熊 川	31	28	31	45	32	32	32	31	36	33	32	27	390
計	82	77	69	95	78	73	67	65	85	83	68	71	913

イ マザークラス

年間6回開催

1回4日間

開催月 区分	5	7	9	11	1	3	計
受講者数	40	36	35	31	24	16	182
全課程終了者	22	28	22	22	19	13	126

ウ A型検診

出生後3ヶ月と9ヶ月の乳児対象

月 地区	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福生	66	75	70	80	68	74	49	61	59	31	53	65	751
熊川	48	38	37	43	38	47	56	49	48	38	37	66	545
計	114	113	107	123	106	121	105	110	107	69	90	131	1296

此の検診により、先天性疾患及関節疾患などの早期発見及び治療をすすめる。

エ 子宮がん予防検診

福生市割当	受診者	%	診 断 結 果							計	%
			内膜炎	トナリス コモ(+)	ポ リ プ	子宮筋種	更 年 期	老 人 腔 突	症 状 手 術		
100人	96	96	28	9	1	3	4	1	1	47	49

受講者に対する%

(6) 老人、成人病予防検診

ア 老人検診

	一 般 診 査				精 密 診 査			
	受診者	診 査 結 果			受診者	診 査 結 果		
		正 常	要精密	要療養		正 常	要その他	要 養
一般対策	108	40	49	19	11	0	9	2

対象者1,000人に個人通知し、144人の申込者があったので、8日に分けて福生病院内科外来にて診査を受けさせた。

要療者の傷病件数	全結核	悪性新生物	糖尿	尿管 中枢 神経 等傷	神経 痛炎	心臓 の疾 患	高血 圧症	胃腸 炎	腎炎 及 ネ フ ロ ー ゼ	関節 炎 及 リ ウ マ チ	その他	計
一般対策	0	0	1	0	0	1	15	0	3	1	5	26

1 成人病検診

区分	方法	受診者	要精密者	説明
胃がん予防	都X光線車使用	195	24	一台分70名撮影 平均65名3車分
高血圧予防	保健所依頼	189	17	医師 心電図 その他
微毒検査	"	193	直接保健所	採血及血液型検査まで
計	3回	577	41	

以上、青梅保健所を通じて東京都衛生局に依頼する。

(7) 畜犬関係

区分	登録 予防接種	捕かく状況					計
		早朝捕獲	回数	吠傷犬	市中捕獲	廃犬	
犬数	1,206	139	7	34	73	192	438

ア 狂犬病予防法に基づき、生後90日過ぎた犬を対象として登録及び予防接種を春秋に分けて実施する。

イ 捕かくについては、上記のとおり、吠傷事故も多く月1回の割におきる。

(8) 精神衛生 発生、申請及鑑定事務

区 分	申請者	鑑定者	否	否	法27,29条	治療中
					入院者	自 宅
患者数	4	4	2	2	3	1

(9) 赤ちゃんコンテスト

区 分	参加者	入 賞 者			計
		優良賞	努力賞	準入賞	
人 員	160	3	母親2	17	22

2. 環境衛生

(1) 作業実績

夏期衛生班を編成し、動力煙霧消毒及び動力ミスト消毒を行なった。

区 分		散布面積	使用量	薬 剤 名	
発 生 源 策	カ	公共下水	96,000m ²	720ℓ	スミチオンV P油剤 （フエントロチオン 0.5% DDVP 0.2% スミチオンV P乳剤 （フエントロチオン 5% DDVP 2%
	ハ エ	その他	51,430m ²	360ℓ	” ”

(2) 薬剤配布（地区組織）

便池投入用及び発生源対策として、また、ねずみ駆除剤を地区組織をとおり各世帯に配布した。また、消毒機械の貸付日程に基づき、町内25町会に貸付を行ない、カ・ハエの発生防止をした。

薬 剤 名	配布世帯数	配 布 量	備 考
フェニトロチオン0.5% D D V P 2 %	8,730世帯	174.6Kg	5月、6月分 1ヵ月1世帯1.0gあて
〃	8,749世帯	174.98Kg	7月、8月分 〃
〃	8,789世帯	75.78Kg	9月10月分 〃
〃		900ℓ	室内煙霧消毒用
カイツウ殺そ剤 スチールエラン	8,876世帯	44.38Kg	1世帯当5gあて

(3) 公衆便所

区 分	委託者数
牛浜駅前便所清掃管理委託	1

(4) し尿、じん介処理

ア し尿処理実績

し尿処理については、委託により全市を福生地区と熊川地区に分け、それぞれ3台と2台（バキューム車1800ℓ）を投入し、1世帯1ヶ月1回の収集を遅滞なく処理した。

区 分	西多摩衛生組合	そ の 他	計
台 数	8,007台	0	8,007台
処 理 量	14,412.6Kℓ	0	14,412.6Kℓ

イ じん介処理実績

じん介収集については特殊車（2t車）5台を業者委託し、一般世帯から排出されるごみの収集に週5日、不燃物収集については、毎週木曜日を定日として、月平均570tを処理した。また、市直営の車（2t車）1台により、毎週計画に基づき、特別収集公共施設及び多量排出地域の収集清掃を実施した。

区 分	直 営		委 託		持 込		計	
	台 数	量(Kg)	台 数	量(Kg)	台 数	量(Kg)	台 数	量(Kg)
焼 却	680	675.42	4,746	5,559.26	1,472	427.45	6,898	6,662.13
埋立て	0	0	1,435	1,396.80	0	0	1,435	1,396.80
計	680	675.42	6,181	6,956.06	1,472	427.45	8,333	8,058.93

ウ 委託契約業者数

区 分	委託業者数
し尿収集	2
じん芥収集	1
計	3

エ 首都美化活動

首都美化活動については、指定地域を選定し、町のよごれを追放し、また、首都美化デーを設定し、環境の整備及び美化の啓もう、啓発活動を行なった。

区 分	春	秋	計
実施時期	1	1	2
世帯数	11,000戸	11,000戸	22,000戸

オ 現有力

人 員		収集車	消 毒 機		
運転手	作業員	普通 収集車	噴霧機	二兼機	三兼機
1人	2人	1台	3台	2台	2台

3. 公害防止対策調査活動

(1) 大気汚染調査実施状況

実施月日	調査地点	調査対象	調査結果					
			一酸化炭素		鉛		交通量	
8月28日	本町91番地先 交 差 点	大気中の一酸化炭素・鉛及び交通量	1時間 平均	PPm 3.69	10時間 平均	$\mu\text{g}/\text{m}^3$ 1.6	1時間 平均	台 605
10月19日	熊川1058番 地 先 交 差 点	"	"	2.4	"	0.75	"	914

一酸化炭素及び鉛を調査した結果、国の環境基準（一酸化炭素20PPm、鉛5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

以下であることが判明した。

(2) 自動車排出ガス測定状況

実施期間	測定回数	測定台数	測定結果	
			規制基準以下の台数	規制基準以上の台数
45年10月～46年3月	9回	133台	109台	24台

自動車の排出ガスを測定した結果、規制基準を超えた車については注意書を渡し、修理

点検、調整をするよう指導した。

(3) 水質汚濁調査実施状況

検体採取年月日	検体採取地点	PH (ペーハー)	BOD	SS	アンモニア チ ッ ソ	シアン	クローム
45年、9月22日	熊川1043番地 排 水 口	7.8 PPm	PPm 26.6	PPm 18	PPm 1.56	PPm -	PPm -
"	" 1798 "	7.3	42.4	41	40.4	-	-
45年10月9日	" 1043 "	-	-	-	-	検出さ れない	検出さ れない
"	" 1798 "	-	-	-	-	"	"
45年10月23日	" 1043 "	7.0	-	28	-	-	-
"	福生409 "	6.7	-	77	-	-	-
"	" 531 "	5.7	-	67	-	-	-
(国) 環境基準		6.0～8.0	20.0	70	慣例 5.0	1.0	2.0

水質の汚濁状況を調査した結果、BOD（生物化学的酸素要求量）とSS（浮遊物質）が多少環境基準を超えていたが、シアン、クロームについては検出されなかった。

(4) 米等のカドミウム汚染の調査実施状況

検体採取年月日	検体採取地点	検体区分	分析結果
45年11月6日	熊川2771番地	水田、米	0.22 Ppm
"	" 1853 "	"	0.04
"	福生3025 "	"	0.04
"	熊川2771 "	水田、土壌	1.10
"	福生2943 "	"	1.20
"	" 2994 "	"	1.50
"	" 3232 "	都市下水路土壌	1.60
46年1月29日	" 3196 "	田用土壌	0.40
46年2月1日	" " "	水田上質土壌	1.20
"	" " "	水田中質土壌	0.75
"	" " "	水田底質土壌	0.50
"	武蔵野台1-16-3番地	畑土壌	1.70
"	志茂 44 番地	"	1.70
46年1月23日	熊川1040 "	田用水	検出されない
"	" 1042 "	"	"
"	福生2975 "	"	"
"	" 490 "	"	"
"	" 3222 "	玉川上水	"

米等のカドミウムを調査した結果、国及び東京都の規制基準（米の規制基準国、1.0 Ppm 都0.4 Ppm）以下であることが判明した。

(5) 航空機騒音の調査実施状況

測定年月日	測定場所	測定時間	離着陸機数		最高音	1時間 当り平均 離着 陸機数
			離陸機数	着陸機数		
45年11月4～5日	福祉会館屋上	24時間	83機	38機	94ホン	5機
45年11月30日 ～12月1日	八高線 東福生駅前	"	53機	-	95 "	2 "
45年12月21日 ～22日	南側 滑走路付近	"	-	152機	110 "	6 "

航空機騒音を測定した結果、エンジンテスト等を含め常時東京都の日常生活音量基準

(第2種住居地域45～50ホン)を超える状態であった。